



OCEAN SYSTEM

第33期
中間株主通信

2010年4月1日から2010年9月30日まで



代表取締役社長 **樋口 勤**

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃のご愛顧に感謝申し上げますとともに、今中間期の活動についてご報告させていただきます。

2010年12月

今中間期の振り返り

今中間期における経済環境は、企業収益は緩やかな回復基調にあるものの、欧州を中心とした金融不安などにより急激な円高・株安、雇用情勢の悪化などで先行き不透明感が払拭されない状況にありました。

食品小売業界におきましては、個人消費活動は回復の兆しが見られておりますが、個人所得、雇用は伸び悩み、業種業態を超えた企業間競争の激化も相乗し、一層のデフレ傾向が加速していることにより、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、中長期的な成長基盤の構築を進め、営業本部を中心に全社的に事業の横断的な見直しを行いました。また、お客様第一主義を基本方針とし、お客様から支持されるよう、既存営業店舗の強化に努めてまいりました。その一方でオペレーションの見

直し等による人員適正化を推進し、人件費を中心とした販費の抑制にも注力いたしました。

以上の結果、売上高は187億14百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益は3億54百万円（前年同期比57.2%増）、経常利益は3億93百万円（前年同期比50.2%増）、中間純利益は当年度より新たに適用となった資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う影響額1億29百万円及び投資有価証券評価損71百万円を特別損失に計上した結果、66百万円（前年同期比47.2%減）となりました。

今後とも安心安全な食品とサービスを提供し、事業基盤の強化に努め、当社グループの一層の発展に向かってまいりましてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

今中間期における各事業部の取組み

小売事業部

小売事業部は、「チャレンジャー」「業務スーパー」のブランド名で食品スーパーを展開しています。

「チャレンジャー」はEDLP（エブリデーロープライス）に特化した店作りをしています。価格競争力に特化する店舗・企業は“価値観の無い安さ”に行き着くことがあります。 「チャレンジャー」では“価値観の有る安さ”を目指し、今期は価値観を重視した商品開発と売場作りの強化に取り組みました。

特に惣菜部門については、原材料の見直しや手作りの部分を増やす等、品質・価値観の向上と低価格の両立に取り組みました。その一環として一部店舗で開始した“惣菜バイキング”は多くのお客様にご好評をいただいております。

また、「業務スーパー」は、今中間期では直営店を3店舗出店しました。

宅配事業部

宅配事業部は、「ヨシケイ」のブランド名で夕食材料の宅配業務を展開しています。今中間期は、『品質向上』と『お客様満足度の向上』を重点課題としました。春から夏にかけての野菜の高騰により、経営的には大変厳しい環境でしたが、仕入各社の協力の下、早い時期に原材料の安定確保に成功したため、生鮮市況に左右されずに高品質の食材を調達する一方で、安定した利益を確保することができました。また、お客様に夕食材料を配達するコース数を従来比5%増便し、配達スタッフも増員しました。お客様とのコミュニケーションを強化したことで、クレーム



が減少するとともに、売上増加にも結び付きました。今後も、お客様とのコミュニケーション強化、従業員の和を尊重した組織運営を続けたいと考えています。

ランチサービス事業部

ランチサービス事業部は、「フレッシュランチ39」のブランド名で事業所向け弁当の宅配サービスを展開している他、千葉県専用工場を拠点として東京都内を中心に持ち帰り用弁当の「こしひかり弁当」を展開しています。

今中間期は、新たなビジネスチャンスの創設を目的に、様々な販売チャネルの拡大を模索しましたが、その一方で、事業の基盤である「美味しさ」と「品質」のさらなる向上に向け、弛まぬ努力を続けています。

新潟県に本社を構える企業として、特に“ごはん”には徹底したこだわりを持っています。「フレッシュランチ39」で提供のお弁当には新潟県産コシヒカリ100%のごはんを、「こしひかり弁当」で提供のお弁当には魚沼産コシヒカリ100%のごはんを使用しています。“粘り”“旨味”“甘味”の3点に徹底してこだわり、お米の選定、炊き方の改善・工夫に日夜取り組んでいます。

フードサービス事業部

フードサービス事業部は、ホテル「海風亭寺泊日本海」を経営しています。当ホテルの立地する新潟県長岡市寺泊は、新潟県内で有数の海辺の観光地として知られており、海鮮料理には特に力を入れ、ボリューム・味覚・価格の三拍子が揃ったメニューを提供しています。今中間期は、徹底的に料理の品質向上に取り組みました。海老や蟹をふんだんに使った天麩羅は揚げたての状態のお客様に提供すること等、社員全員に厳しくルールを徹底しました。

今後も引き続き、妥協のないサービスの徹底と品質の向上に取り組む、お客様の満足度を追求していきます。



■連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当中間期 (2010年9月30日現在)	前中間期 (2009年9月30日現在)	前期 (2010年3月31日現在)
資産の部			
流動資産	3,222	3,306	3,734
固定資産	10,307	9,805	9,959
有形固定資産	7,762	7,331	7,438
無形固定資産	394	328	391
投資その他の資産	2,149	2,145	2,129
資産合計	13,529	13,111	13,694

科目	当中間期 (2010年9月30日現在)	前中間期 (2009年9月30日現在)	前期 (2010年3月31日現在)
負債の部			
流動負債	4,431	5,091	4,554
固定負債	4,241	3,301	4,326
負債合計	8,672	8,392	8,881
純資産の部			
株主資本	4,896	4,782	4,888
資本金	801	801	801
資本剰余金	354	354	354
利益剰余金	3,910	3,796	3,902
自己株式	△170	△170	△170
評価・換算差額等	△39	△63	△74
純資産合計	4,856	4,719	4,813
負債純資産合計	13,529	13,111	13,694

※連結貸借対照表の中間期は、第2四半期連結会計期間末をあらわします。

Point

当中間期末の資産合計は、大型店の出店などの設備投資を抑制した結果、前期末に比べ1億64百万円減少し、135億29百万円となりました。

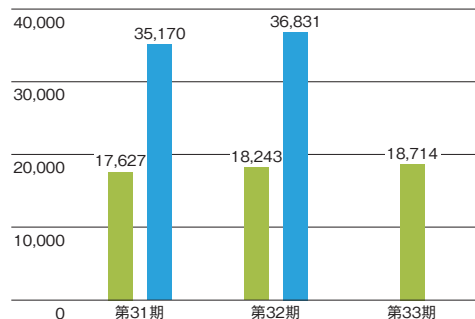
Point

負債合計は、借入金の返済等により前期末に比べ2億8百万円減少し、86億72百万円となりました。純資産合計は、前期末に比べ43百万円増加し、48億56百万円となりました。

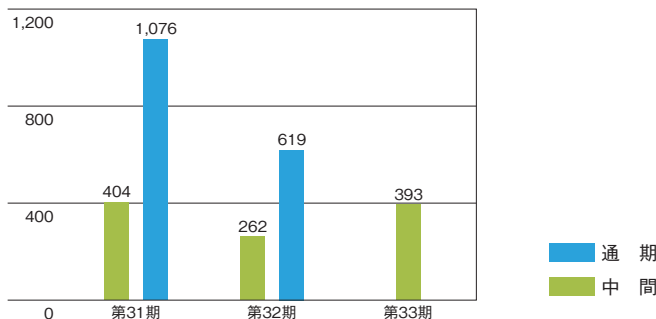
自己資本比率は0.8ポイント上昇し、35.9%となりました。

■財務ハイライト

●売上高 (連結、単位：百万円)



●経常利益 (連結、単位：百万円)



■連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当中間期 (2010年4月1日から 2010年9月30日まで)	前中間期 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)	前期 (2009年4月1日から 2010年3月31日まで)
売上高	18,714	18,243	36,831
売上原価	13,905	13,548	27,273
売上総利益	4,808	4,695	9,557
販売費及び一般管理費	4,454	4,469	8,999
営業利益	354	225	558
営業外収益	70	67	130
営業外費用	30	30	69
経常利益	393	262	619
特別利益	8	14	50
特別損失	212	49	127
税金等調整前中間(当期)純利益	190	227	542
法人税、住民税及び事業税	189	5	35
法人税等調整額	△65	96	218
中間(当期)純利益	66	125	289

※連結損益計算書の中間期は、第2四半期連結累計期間をあらわします。

Point

売上高は187億14百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益は3億54百万円（前年同期比57.2%増）、経常利益は3億93百万円（前年同期比50.2%増）、中間純利益は66百万円（前年同期比47.2%減）となりました。

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

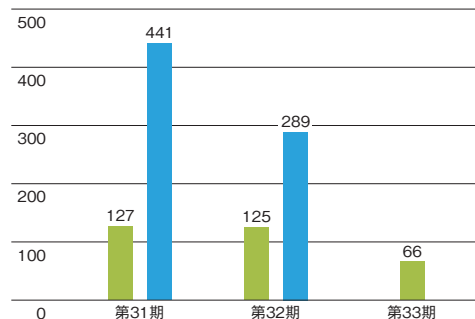
科目	当中間期 (2010年4月1日から 2010年9月30日まで)	前中間期 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)	前期 (2009年4月1日から 2010年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	715	△57	818
投資活動による キャッシュ・フロー	△347	△528	△1,176
財務活動による キャッシュ・フロー	△645	194	468
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△276	△391	109
現金及び現金同等物の 期首残高	1,135	1,025	1,025
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	858	634	1,135

※連結キャッシュ・フロー計算書の中間期は、第2四半期連結累計期間をあらわします。

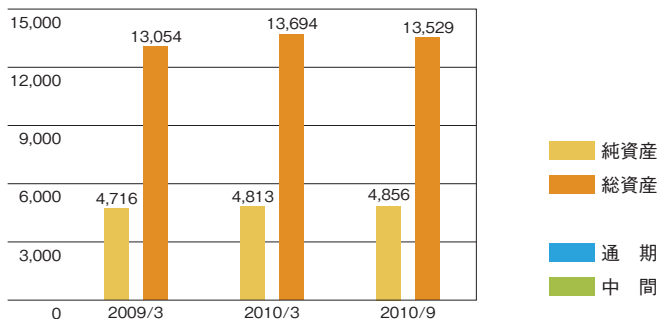
Point

当中間期は営業活動によるキャッシュ・フローが増加した一方、新規出店などの設備投資が減少したため投資活動によるキャッシュ・フローが減少しました。この結果、長期借入金の返済が進み、財務活動によるキャッシュ・フローは△6億45百万円となりました。

●中間(当期)純利益 (連結、単位：百万円)



●純資産／総資産 (単位：百万円)



地域一番店を目指して！

「食」という、お客様に一番近いフィールドを事業領域としている私たちは、お客様の心も満たせるような事業展開を目指し、各事業部ごとに、より多くのお客様と接点を持てるように、様々な工夫をこらしております。

■小売事業部+地域活性化

地域の交流イベントや新鮮朝市などを開催。

店内での取り扱い商品も、地元新潟の企業との提携により、鮮度・品質・味・価格ともに満足いただけるオリジナル商品を多数開発し、販売・提供しております。“あってよかった”から“なくてはならない”チャレンジャーを目指しています。



■宅配事業部+企画力

「ヨシケイ」による、夕食食材の配達を行うだけでなく、手軽に食べられる商品などを中心としたオリジナルの販売企画を行っております。新潟県や群馬県、北海道などの地元企業との提携により実現した特産品フェア企画では、地域の住民の皆様もご存じない“隠れた逸品”等をご紹介します、お客様から「地元企業の商品とは知らなかった。新たな発見でした！」といった反響をいただきました。



■小売事業部+オープンキッチン

店舗内では、対面の魚売場やお惣菜をお客様の目の前で調理するパフォーマンスオープンキッチン等、お客様とのふれ合い（接点）や距離感を大切にしています。



心のコもった接客と、一体感のある売場作りを常に心がけており、調理シーンを見せることで、安心してお召し上がりいただける商品提供を行っております。見て楽しい、食べておいしい、何度も来店したくなる、そんな店舗を目指しています。

■ランチサービス事業部+コラボレーション

より多くのお客様にお会いできるように、各種メニューを取りそろえた都心ビジネスエリアにあるフードコートに、新規出店いたしました。得意分野のおいしさを出し合うことで、お客様、協力業者様、オーシャンシステムの“WIN-WIN-WIN”の関係を目指しています。



■会社概要 (2010年9月30日現在)

社 名 株式会社オーシャンシステム
(OCEAN SYSTEM CORPORATION)
本社所在地 〒955-0845
新潟県三条市西本成寺二丁目26番57号
創 業 1955年 (昭和30年)
設 立 1998年 (平成10年)
4月1日 (グループ合併)
資 本 金 8億171万円
従 業 員 数 766名 (連結) 758名 (単体)
(パート・アルバイト除く)
事 業 拠 点 小売事業 35店
弁当給食事業 8工場
4店
8営業所
宅配事業 16営業所
旅館事業 1店
関 連 会 社 株式会社サンキューオールジャパン

■役員 (2010年9月30日現在)

代 表 取 締 役 会 長 樋 口 毅
代 表 取 締 役 社 長 樋 口 勤
取 締 役 相 談 役 樋 口 洋 平
常 務 取 締 役 中 嶋 庄 司
取 締 役 古川原 英彦
橋 崎 健吾
桜 井 英紀
高 橋 保志
宮 嶋 大造
小 堀 野 純平
樋 口 勝 人
杉 田 仁 史
水 谷 英 二
茨 川 光 夫
野 崎 俊 久

常 勤 監 査 役

■株式の状況 (2010年9月30日現在)

発行可能株式総数 35,740,000株
発行済株式総数 10,833,000株
株主数 10,254名
単元株式数 100株

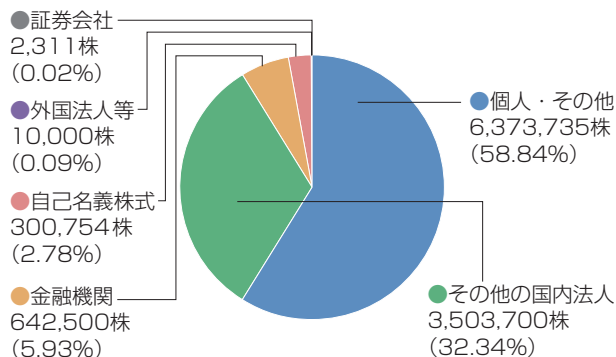
■大株主 (上位10名) (2010年9月30日現在)

株主名	持株数 株	持株比率 %
(株)ひぐち	2,711,000	25.74
樋口 勤	1,263,000	11.99
樋口洋平	960,000	9.11
樋口 毅	960,000	9.11
(株)第四銀行	320,000	3.04
(株)北越銀行	301,000	2.86
オーシャンシステム従業員持株会	238,300	2.26
(株)マツヤ	185,000	1.76
安達成功	58,500	0.56
新潟酒販(株)	50,000	0.47

(注) 1. 当社は自己株式を300,754株保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■所有者別分布状況 (2010年9月30日現在)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

株式事務手続きについて

株式事務に関する各種手続き（住所変更、配当金の振込先指定、単元未満株式の買取・買増請求等）のお問合せ先は、次のとおりとなっております。

■証券会社等の口座に記録された株式に関するお問合せ先
お取引のある証券会社等へお問合せください。

■特別口座に記録された株式に関するお問合せ先
みずほ信託銀行株式会社（特別口座管理機関）へお問合せください。
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 ☎0120-288-324

※未払い配当金について
未払い配当金につきましては、上記いずれの場合も当社株主名簿管理人のみずほ信託銀行株式会社へお問合せください。

電子公告（<http://www.ocean-system.com>）
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

HPのご案内

<http://www.ocean-system.com>

ホームページでは、最新のニュースリリースやIR情報など多様な情報を公開しています。ぜひご覧ください。







株主優待制度のご案内

当社では、株主の皆様の日頃のご支援、ご愛顧に感謝の意を込めて、年2回の株主優待制度を設けております。

【1】優待内容

毎年3月31日現在及び9月30日現在の株主名簿に記載または記録された100株以上の当社株式を保有する株主様を対象といたします。株主名簿の記載住所及びご所有株式数に応じて優待内容が異なります。※記載住所は基準日現在に株主名簿に記載または記録された住所とさせていただきます。


新潟県内在住の株主様	左記以外の株主様
ご所有株式数：100株～999株	
<p>●株主ご優待券（買物割引券） 3,000円分（200円券） 15枚</p>  <p style="text-align: right;">見本</p>	<p>●魚沼産 コシヒカリ 5kg</p>  <p style="text-align: right;">見本</p>
ご所有株式数：1,000株以上	
<p>●株主ご優待券（買物割引券） 10,000円分（200円券） 50枚</p>  <p style="text-align: right;">見本</p>	<p>●魚沼産 コシヒカリ 10kg</p>  <p style="text-align: right;">見本</p>

【2】株主ご優待券（買物割引券）について

- ご利用方法
1回のお買上金額1,000円以上につき、1,000円ごとに各1枚（200円）利用いただけます。
※本券はたばこ、商品券、宅配便送料等にはご利用いただけません。
- ご利用可能店舗
チャレンジャー、業務スーパー、エルジョイ、プライスリーダー、海風亭寺泊日本海、ヨシケイ新潟
(いずれも新潟県内の店舗・営業所に限ります。)
※なお、当社直営でないテナントでは一部利用いただけない店舗もございます。
- 対象株主様ご利用可能期間
3月31日現在の株主様 翌年1月31日まで
9月30日現在の株主様 翌年7月31日まで

【3】贈呈時期

新潟県内在住の株主様には、本中間株主通信に同封して、株主ご優待券（買物割引券）をお送りしております。新潟県以外に在住の株主様には、2010年12月上旬に魚沼産コシヒカリを発送させていただく予定です。なお、魚沼産コシヒカリがお手元に届きましたら、お早めにお召し上がりいただきますよう、お願い申し上げます。

 株式会社 オーシャンシステム

〒955-0845 新潟県三条市西本成寺二丁目26番57号
TEL 0256-33-3987 FAX 0256-35-2573
<http://www.ocean-system.com>

